

第14回中曽根康弘賞を受賞しました(2018/7/6)

テーマ：防災，社会安全，国際貢献
 場所：ザ・キャピトルホテル東急

平成30年7月6日にザ・キャピトルホテル東急にて，中曽根康弘世界平和研究所による第14回中曽根康弘賞の授賞式が開催されました。当賞は日本及びアジア・太平洋の国または地域に属し，政治、経済、文化、科学技術等多様な分野において大きく国際社会の平和に貢献している者に対して与えられる賞です。今年の実賞者は，優秀賞1名，奨励賞2名となり，当研究所のサッパシー アナワット准教授（災害リスク研究部門）が国際社会における平和と安全の確保の項目で奨励賞を受賞しました。サッパシー准教授は2004年インド洋津波を経験した国々への技術・教育的な活動に貢献し，2011年東日本大震災後は国際的に国連機関等へ津波防災活動の実績が高く評価されました。受賞者のリストは以下の通りです。尚，当研究所の今村文彦所長も第5回中曽根康弘賞を受賞しています。受賞式には今村文彦所長と保田真理助手が出席しました。詳細：<http://www.iips.org/award/index.html>

1. 「優秀賞」 James L Schoff（52歳・アメリカ）カーネギー国際平和財団 上級研究員
2. 「奨励賞」 Anawat Suppasri（34歳・タイ）東北大学災害科学国際研究所 准教授
3. 「奨励賞」 Andrea Pressello（47歳・イタリア）政策研究大学 助教授



元首相中曽根康弘氏による挨拶



受賞の様子



賞状



サッパシー准教授の受賞コメント



受賞式の様子

文責：サッパシー アナワット（災害リスク研究部門）